


<p>【イベント名】 第12回 ラテンアメリカテレカンファレンス</p>	<p>【概要】 2017年7月13日に開催された第12回ラテンアメリカテレカンファレンスは、映像や音声の質だけでなくプログラムの内容においても最高のイベントの一つとして数えられるだろう。接続したラテンアメリカの施設を含めて活発なディスカッションが行われた。今回のテレカンファレンスの目標は具体的かつ明確なプレゼンテーションによって達成することができた。</p>
<p>【期日】 2017.07.13</p>	
<p>【会場】 サンパウロ大学 (ブラジル), アレマナ病院 (チリ), チリ・カトリック大学 (チリ), コスタ・リカ大学 (コスタリカ), コスタリカ ガストロクリニカ (コスタリカ), ボゴタ・ザビエル大学 (コロンビア), カリ・ザビエル大学 (コロンビア), メンチャカ・グアダラハラ市民病院 (メキシコ), ブラジル国立がん研究所 (ブラジル), ブラジリアパーゼ病院 (ブラジル), カスカーフェル胃腸病院 (ブラジル), 大阪国際がんセンター (日本), 九州大学病院 (日本)</p>	
	
<p>サンパウロ大学での会場の様子。</p>	<p>九州大学病院では海外から研修にきた医師も参加した。</p>
<p>撮影場所：サンパウロ大学</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>提示された内視鏡画像のスライド。</p>	<p>提示された病理画像のスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>ブラジル癌研究所での会場の様子。</p>	<p>カンファレンスは明るい雰囲気ですべて終了した。</p>
<p>撮影場所：ブラジル国立がん研究所</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>